

# 地域の魅力づくりこそ、地方創生!

あたらしいことに挑戦し続けます!



商店街の魅力作りと、村井駅改修・周辺整備を推進します



松本駅前では若者同士議論をするまちなか討論会を開催。YouTubeでは、学生と撮影した衆院選候補者のインタビュー動画も投稿しました。



祝! 山雅 J2 初優勝 & J1 昇格!



牛伏川階段工の維持管理を支援し、観光・学習の活用を推進します



松原モールを南部地域のにぎわい・福祉拠点へ



中信松本病院の跡利用についてH30年2月議会で質問

## 青木たかし

平成元年(1989年)12月30日 松本市岡田生まれ 松原在住  
本郷幼稚園卒 岡田小学校を転校し、明善小・中学校卒  
松本深志高校60回卒

公立高崎経済大学在学中に衆議院議員公設秘書へ

松本で若者地域おこし団体の代表を務め、公民館活動や若者参画活動に取り組んだ後、平成27年4月の松本市議選にて「県内初の平成生まれ議員」として初当選(1期目)市政を身近にわかりやすく知ってもらうため、ブログによる情報発信に注力し、累計16万アクセス、ナガブロ総合ランキング第1位に2度なりました。

### 所属・役職

松本青年会議所・松本中央ライオンズクラブ・松本法人会・保護司・  
経済地域委員会副委員長(H27)・建設環境委員会副委員長(H28)・  
教育民生委員会副委員長(H29)・交流部会副部会長(H30)

青木たかし事務所 長野県松本市松原24-20

TEL 0263-50-8226 FAX 0263-50-8735

Mail taoki1230@gmail.com

ブログ、各種SNS更新中!

青木たかし 検索

Facebook

Twitter

Instagram



公式 サイト aoki-takashi.com



LINE 登録はこちら

市議選の日程が決定!

4月14日(日)告示 4月21日(日)投開票

皆様の一票で松本の未来が決まります! 投票日にご都合の悪い方は、松本駅自由通路などに設置予定の期日前投票をご利用ください。

平成生まれ 29歳 松原在住

無所属 最年少松本市議会議員

青木たかし

青木たかし

検索

ブログ 16万PV!

# あたらしい時代を切り拓く!



## 私の志

### なぜ政治家を志したのか

平成元年、松本に生まれた私は、メディアや教育の場において、自分たちの暮らす社会が、これから深刻な少子高齢化、人口減少を迎えるという話を繰り返し耳にしてきました。「なにかできることはないか」と強い危機感を抱いて、上京後、NPO活動や社会起業について学び、そこで民間としてできることとできないことを学びました。そして、2011年東日本大震災をきっかけに、社会を変えることに携わりたいという思いが強くなり、政治を意識し始めました。

松本にUターンで戻ってから、公民館活動や若者団体の活動に取り組んだことで、上京前には気付かなかった松本の魅力をいくつも発見することができたと同時に、多くの課題があることも知りました。

様々な手法がある中で、当時平成生まれの政治家が全国にいなかったということもあり、私は政治というアプローチで生まれ故郷のために力を尽くしたいと考えるに至りました。そして、平成27年の松本市議選に立候補・初当選させていただき、「**将来の松本のためにどうすべきか**」という信念のもと、妥協せずに議員活動に取り組んできました。

### 東京一極集中に歯止めがかからない今、**「東京以上の選択肢、松本」**を目指す

東京一極集中解消の兆しが見えない中、人工知能(AI)を使った日本社会の未来シミュレーションでは、健康、出生率、格差、幸福等の観点から、持続可能な社会を実現するためには「**地方分散型**」が望ましいという結果が示されました。

松本市は、昨年末、全国で82市選定された「**中枢中核都市**」のひとつに選ばれました。松本平として人口流出を食い止め、圏域の経済や住民生活を支える役割が期待されています。

また、野村総研の報告では、全国主要100都市のうち、松本市は都市の成長可能性ランキング全国8位、子育てしやすい都市1位と評価されました。**これだけポテンシャルを評価されている松本市が、暮らし・観光・仕事という点で、これ**

から東京以上の選択肢になれるか」ということは、他の地方都市の未来や、わたしたちの国の行く末をも左右する試金石となるはずで

### 松本市の人口推移



### 人口減少が進むポスト平成時代に、**「あたらしい時代の松本」**の環境整備を急ピッチで

今、私が一緒に年齢を重ねてきた平成という時代が終わろうとしています。この30年間で情報技術や価値観、働き方、家族形態は変わり、世界でだれも経験したことのない人口減少型超少子高齢社会は確実に進展しています。このあたらしい時代の変化に対して、「**選ばれる松本**」となるためには先んじて手を打つべきです。

時間や場所に縛られない働き方を支援し、多様性を認める共生社会を推進し、待機児童を解消する。また、時代に合った経済・交通の基盤を整備し、高齢になっても、障害があっても安心して暮らせるよう、災害や病気から命と健康を守る都市にすることも不可欠です。

「自然や歴史が豊かで、それでいて便利で住みやすい。松本が好きで、本当はここに残りたいけれど…」と言って多くの友人が市外に出て行きました。そんな「けれど…」の解消を、同世代の視点で目指していきます。

**次の世代の子どもたちが、私と同じように松本を愛し、誇りに感じてもらえるようにするため、同じ志を抱く全国の仲間とともに真剣に取り組めます。**また、そのことによって、これまで私を育ててくださった地域のみなさんへの恩返しとしたいです。

松本市議会議員 青木 崇

あたらしい時代の松本における課題と私の取り組みについては、**中面をご覧ください。**



# 待機児童ゼロを目指し、子ども・若者が帰ってこられる松本へ！

H30年12月議会で、今の松本市の待機児童数を質問したところ、H30年10月時点の待機児童数は71名、隠れ待機児童数は128名で、**合計199名**いることがわかりました。同年4月と比べると、全体で82名増。待機児童はすべて3歳未満児で、特に0・1歳児の入園希望が増えています。近年雇用情勢が活発化し、出産後まもなくから働く親が増えていることが背景にあって、今後3年間で、未満児の保育需要はさらに201名増加すると見込まれています。

さらに、**今年10月に予定されている幼児教育・保育無償化によって、より保護者負担の軽い認可保育園への入園を希望される方が増える**と予想され、さらに待機児童が深刻化することが心配されています。

原因は保育士さんが不足していること。**私は、まだ待機児童が発生する前から、待機児童の基準を満たさない「隠れ待機児童」が市内で徐々に増えていることを懸念し、このまま進めば松本でも都心のような待機児童が発生しかねない**ことから、原因となっている保育士確保策として「正規保育士の数を増やすこと」と「嘱託保育士の給料や待遇を改善すること」を議会で提案(H28年9月)しました。**両者とも答弁で実施が表明され、対策が取られていましたが、今後さらに改善策を講じる必要があります。**幼保無償化を前に、民間事業者の力も活用しながら、一層の待機児童対策を求めています。

また、若者世代の政策ニーズを把握して市政に反映するため、**若者の実態や意識調査を提案(H27年6月)し、それ以降隔年で実施されています。**松本市総合計画(第10次基本計画)策定時には、この調査を踏まえた若者視点の指標を盛り込むことを提案(H28年6月)し、反映されました。

他にも、子どものインフルエンザワクチン接種助成制度を提案(H28年6月)し、小・中学校普通教室へのエアコン設置を推進する他、児童虐待防止や自殺予防対策、子どもの貧困対策、若者の活動支援にも取り組むことで、名実ともに子育てしやすい都市1位・若者が住みたいまち松本を目指します。



子ども食堂のためのフードドライブをライオンズクラブ青少年委員長として企画

私が取り組む市政テーマ

市民の命と健康を守るため、健康づくりや健康教育の取り組みを推進します。

国内主要活断層の中で地震発生率1位の松本で、ブロック塀対策や液状化マップの策定、避難・救助活動の体制整備など、地震対策を強力に進めます。

地域包括ケアシステム構築を進め、認知症介護に対する支援を推進します。

免許返納支援とともに、公共交通網整備を推進します。

外国人や障害のある人、ない人がともに暮らす共生社会実現を目指します。

**市民・観光客が日常的に屋外で音楽に触れられる取り組みを提案(H29年12月)し、毎月楽都・まつもとライブが実施されています。**

OMF・歌舞伎・草間彌生作品・クラフトフェアなど、芸術・文化のまち松本を守ります。

6次産業化や地産地消を推進するため、関連する制度の改善を進めます。

自然エネルギーの活用と、プラスチックごみ対策に取り組めます。

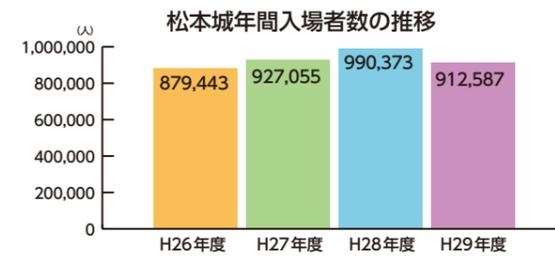
**募金活動の際に届出・報告を求めていた条例の廃止を提案(H28年9月)し、廃止されました。**

詳しい政策やその他の取り組みは、私のホームページをご覧ください。

# 減少傾向の観光客。松本城を中心に、経済・交通にあたらしい活力を！



外国人観光客の市内宿泊数は**28,727人泊(H24年) ⇒ 140,755人泊(H28年)**と、この4年間で490.0%伸びているものの、国内観光客数は、**7,425,278人(H8年) ⇒ 5,115,958人(H28年)**と、**20年間で約230万人減少**しています。出典：松本市観光ビジョンより  
特に、**松本城の入場者数は平成28年度から約7.9%減少に転じ、松本城特別会計の当初予算も前年より減額して編成されることとなりました。**



議会では、外国人観光客の受け入れ環境を整備するため、Wi-Fi整備やホームページ多言語化を提案してきました(H27

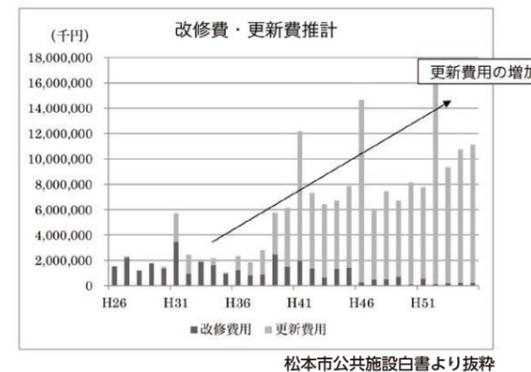
年12月・H28年9月)。今後、食やお土産、朝と夜の観光資源を発掘し、松本城を活かしたマーケティング・情報発信強化を進めていきます。

また、まちづくりと観光の中核となる松本城では、天守観覧の待ち時間対策のため、**期間限定で公開されている太鼓門を常時公開とすることを提案し、実施が表明されました(H29年6月)**。お堀の泥除去や天守耐震化・改修など、費用のかかる課題が山積しています。特に、半分まで用地買収が進んでいた南・西外堀が、土壌汚染によって復元できず、芝生整備に方針転換したことが大きな課題となっています。松本城をめぐる課題について、クラウドファンディングやイベント収益の活用などのあたらしい対策を講じて解決を目指します。

この他、創業支援や健康産業創出支援、シェアサイクルやバスロケーションシステム、路線バスIC切符導入といった次世代交通政策の推進を図り、大型商業施設出店による渋滞対策を議会で求めてきました。今後も雇用・経済対策を推進するとともに、都市計画道路見直しやICT・AI活用による渋滞緩和策に取り組みます。

# 行財政改革を進め、市民・次世代の声を代弁する活力ある議会へ！

松本市では、**この30年間で公共施設の総面積を20%以上削減する計画**をH30年に策定しました。下のグラフの通り、平成元年前後に整備された多くの公共施設建替えが今後集中し、多額の経費が必要となります。その一方で、人口減少で税収は減り、高齢化で福祉にかかる費用は増大することから、使える財源は減少していくことになります。計算すると、**このままの施設量では、年間28.5億円費用が不足**することがわかり、その対策のために、先ほどの削減目標を設定しています。



ちなみに、市民1人あたりの公共施設延べ床面積について同規模の都市と比較すると、同規模21都市の平均が3.02㎡であるのに対して、松本市は4.43㎡であり、**松本市の施設所有量は平均を大きく上回っています。**(H24年度時点、出典：松本市公共施設白書)

次世代に負担を回さないため、議会として、公共施設の再配置を強力に推進し、行政をチェックする必要があります。H30年6月議会では、四賀運動広場を2100人収容できる野球場へと施設更新することに対して、公共施設マネジメントの観点から指摘をしました。

また、H30年6月議会では、松本市のふるさと納税の累積の収支差が4億1千万円を超えていることを指摘し、その対策を各種提案しています。その他、新庁舎の現地建て替えの決め方や、中核市の課題、市立病院・有機センターの経営赤字対策について議会で指摘してきました。